

成原ゼミ研修旅行日記（2019年）

成原ゼミ3年 田川優

10月23日7時	福岡空港
同日9時30分	羽田空港
同日10時30分～12時30分	メルカリ
同日13時30分～15時	NHK
同日16時～17時30分	ヤフー
同日18時30分～	九州大学東京同窓会懇親会
10月24日9時～10時	SAP ジャパン
同日10時30分～12時30分	国立国会図書館
昼食	憲政記念館
同日13時30分～15時	総務省
同日16時～17時30分	最高裁判所
同日18時～	懇親会
10月25日9時～10時	LINE
同日10時30分～12時30分	Google
昼食	渋谷ストリーム
同日13時30分～15時	Data Sign



ヤフー



国立国会図書館

1. はじめに

私たち成原ゼミは、情報法を専門としている成原慧先生のもとインターネット上におけるプライバシーの問題やフェイクニュースの問題、AI の法的課題などを勉強しています。今回の研修旅行では、学者や実務家の方々と会い、お話を伺うことで、大学での学びについてより深く理解するとともに、今まで以上に情報法について関心を持つことができました。また、また、今回の研修旅行では九州大学法学部東京同窓会の先輩方に懇親会を開いていただきました。以下、研修旅行での学びについて、感謝の気持ちを込めて書かせていただきます。

2. 訪問・見学について（1日目）

2-1. メルカリ

事業説明と法務関係の業務説明、質疑応答をしていただきました。世界で日本企業が成功するうえで技術開発力に加えて国内外のルール形成戦略が必要だと聞きました。特に国際的ルール形成に関わり、その国際的ルールが日本のルールに影響を与えることで日本のルールを変えるというお話が印象的でした。



2-2. NHK

スタジオ見学と報道センター見学、九大OB 座談会などをしていただきました。テレビ局というのは身近に思っていたのですが、スタジオの構造や細かく決められた台本などの裏側からは、テレビを通して見えるテレビ局とは違った部分が見えてきました。また、スタジオもテレビで感じるほど広くなく、セットも番組ごとに入れ替えていると伺いました。公共放送を担っているということで、普段の報道から災害時の報道まで大きな責任を負っているように感じられました。九大OB の職員の方々との座談会や採用に関する案内もあり、学生、特に就職を控える3年生にとって、とても実りある見学だったと思います。

2-3. ヤフー

職場見学と忘れられる権利についての講演、事前の質問への回答、少人数に分かれてのディスカッションをしていただきました。職場見学では外部の人でも自由に使用でき、互いに交流ができるスペースがあると聞きました。忘れられる権利についての講演は、これまでゼミで学んだことを踏まえて、ヤフーの皆さんの意見を伺いました。ディスカッションでは、それぞれがゼミ論文のテーマや疑問に思っていることについて質問をしました。



2-4. 法学部東京同窓会懇親会

法学部東京同窓会の皆さんに暖かく迎えていただき、豊富な社会人経験に基づいた貴重なお話をさせていただきました。私が印象に残っているのは、変化が急速に進んでいる社会において、今順調な仕事がかれからも順調なわけではないから、自分に合う企業を選んだ方がいいという言葉です。これから就活が本格化する3年生にとって、東京で働くイメージや意義、社会人になるということなどについて学べたことは非常に価値のあることであったと思います。また来年も元気な顔を見せられるように、ゼミ生一同これからの学生生活を頑張っていきたいと思えます。本当にありがとうございました。



3. 訪問・見学について（2日目）

3-1. SAP ジャパン

業務説明と質疑応答をしていただきました。訪問するまで SAP ジャパンという会社を正しく知らなかったのですが、業務説明を通して SAP が世界的大企業だとわかりました。社内では様々な国籍の方が働いていました。IT 業界で歴史ある企業として責任を負っているとともに、変化が多い業界で常にスピード感を持ち、業界をリードしているのだと感じました。また、グローバル企業ということで、実務の側面から GDPR についても詳しく伺うことができたため、学生の今後の学びにつながったと思います。

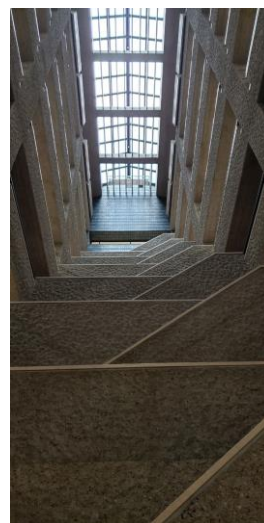


3-2. 国立国会図書館

国立国会図書館というのは、ただ「図書館」ではなく、日本の表現の自由を守る重要な施設であり、調査研究をすることで国会議員のサポートを行う機関であるとわかりました。また館内見学では地下7階まである書庫を見学し、その大きさに圧倒されました。

3-3. 総務省

総務省では、消費者行政第二課を訪問しました。今日の情報社会における問題について講演していただき、海賊版サイト対策やプラットフォーム事業者を巡る課題、フェイクニュースの問題などゼミ生の論文テーマにつながることを学ぶことができました。また、総務省の多様な取り組みについて知ることができました。



3-3. 最高裁判所

施設の見学と宇賀判事との面会をさせていただきました。施設の見学では、最高裁判所の大法廷や評議室などを見て回りました。施設の荘厳な雰囲気と広さに圧倒され、緊張しまし

た。また、宇賀先生との面談では、学生の質問一つひとつに丁寧に応答していただきました。特に、実務家の目線と学者の目線から意見を伺うことができ、学生にとっても貴重な機会だったと思います。夜は最高裁判所を一緒に訪問した他大学の先生方・学生との懇親会がありました。報告の参考文献にしているような先生方と近い距離で、ディスカッションというレベルには達していないものの、質疑応答をさせていただいたことは、自らの学びの方向性を確認するとともに、新たな知見を得る良い機会になりました。

4. 訪問見学について（3日目）

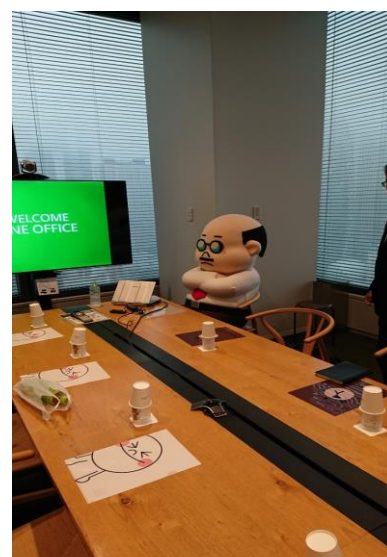
4-1. LINE

LINE では、業務説明と質疑応答をしていただきました。オフィスに LINE のキャラクターがたくさん登場していることに驚き、興奮しました。業務説明では、LINE が災害を想定したツールから始まったことや広告事業やコンテンツ事業など幅広い業務を行っていることを知りました。質疑応答では、プライバシーに関する事項を中心に質問をしました。丁寧に説明をしていただいたので、今後のゼミ活動や論文執筆に活かされると思います。



4-2. Google

社内見学と質疑応答をしていただきました。移転したばかりのオフィスは、とても綺麗でスタイリッシュでした。会社内にジムやゲーム室があったり、様々な国の料理が並ぶ充実した食堂があったりして、社員が効率よく仕事に臨める環境が整っているように感じました。また、質疑応答では、法務部の4人の方々が、ゼミ生の質問について丁寧に答えてくださいました。情報法の疑問を解決するのはもちろん、皆さんの考え方なども伺うことができたことは今後の学生生活の役に立つと思います。その中で印象に残ったのは、「Be Googly」というスローガンには、何か一つの意味があるわけではなく社員一人ひとりの解釈があり、「前向きであること」や「特異なことで社会に貢献すること」などがあると伺ったことです。他にも学生までは苦手を克服することが大切だが社会人になったら得意なことでも勝負しなければならないということが印象に残りました。



4-3. Data Sign

Data Sign では、主に「情報銀行」という新しいサービスについて学びました。自己の個人情報の管理という点で、以前ゼミでも話題になっていたため、ゼミ生にとって疑問を解決するいい機会となったと思います。「情報銀行」というのは、サイトの閲覧記録などの自己の個人情報を自分で管理し、外部に適切に利用してもらうという仕組みであり、ひいては自分の情報を自分で分析することや自分専用の AI にながっていくというところが印象に残りました。



5. 感想（研修旅行を終えて）

今回の研修旅行では福岡の大学生活ではできない貴重な経験をさせていただきました。日々変化し続ける情報法の諸問題について、その変化の中にある東京の IT 企業の実務家の方々や官公庁の方々のお話を聞き、それぞれの疑問を解消できたことは今後の学習にむけて何にも代えがたい経験だったと思います。また、情報社会の最前線で働く方々は目的や問題意識をしっかりとっていて、とてもエネルギーがすごかったです。私もそのような社会人になりたいと思いました。

最後に、今回の研修旅行に関わってくくださった皆様に感謝申し上げます。特に成原先生におかれましては、簡単には行くことのできない訪問先で、簡単には会えない方々に合わせていただき、ありがとうございました。また、東京同窓会の皆様におかれましては、懇親会や訪問先の紹介をしていただき、本当にありがとうございました。今回の経験を糧に、それぞれのゼミ生が今まで以上に学びを深めていきたいと思っています。



1 日目移動途中



総務省



Google